

横須賀市地球温暖化対策地域協議会
平成28年度第4回理事会 議事録要旨

- 1 日 時 平成29年1月26日（木） 13時30分～14時30分
- 2 会 場 勤労福祉会館（ヴェルクよこすか） 3階 第8会議室
- 3 出席者 11名
（元木会長、高橋（正）副会長、木村理事、鈴木理事、古橋理事、榎本理事、高橋（弘）理事、佐野理事、塚平理事、森井理事、田中理事）
事務局 4名
（小澤事務局長、太田事務局次長、今野、青木）

4 会議内容

（1）開会

（2）議題

① 議題1「平成29年度の予算編成方針について」

- ・ 事務局より資料1-1、1-2に沿って説明した。
- ・ 議題1は、理事会で承認された。
- ・ 質疑応答は次のとおり。

（理事）資料1-2は現在の支出済み額ではなく、3月末までの支出見込み予定額を出すべきではないのか。

（事務局）資料1-2は現在の協議会の事業規模を把握いただくための支出想定 of 参考資料として、平成27年度の決算資料を配布した。なお、平成28年度は10周年記念事業を実施しているため、例年に比べて支出額が多くなっている。

（理事）エコポイントの事務費は、協議会予算の70万円の範囲内で支出するという事か。

（事務局）エコポイントの事業費は特別会計として、一般会計の予算外となっているが、エコポイント事業に係る事務費は協議会の一般会計予算内となっている。今後、エコポイント事務費に関する予算も特別会計とすることが可能か検討する必要がある。

（理事）資料1-1の2に記載の提案①～③のとおり見直した場合の概算的な支出額の資料は作成されているのか。また、この提案の根拠はなにか、

（事務局）概算の資料は作成していないが、提案の根拠は既に検討している。例えば、よこすか節電チャレンジはLEDライトを参加者に抽選でプレゼントしているが、LEDライトの価格がひとつ2千円程かかっており、高額なうえに当選者への送料が大きい。よって、事業自体を廃止するのか、またはお礼の品を他の物に変えたり、当選者数を減らしたり等の工夫により支出額の見直しを行う。

(理事) 平成29年度は交付金の70万円で事業を行うのか。仮に70万円以内に事業を縮小してしまうと、70万円で活動できるのではないかと、財政当局から交付金が減らされてしまう恐れがある。必要なものには支出するという事をお願いしたい。

(事務局) 平成29年度に関しては交付金70万円に縛られずに必要なものに支出することになる。しかし、平成30年度以降は繰越金が無くなるので、交付金の範囲内で活動せざるを得ない。ただ、今後、協議会が20周年、30周年と節目の年を迎える場合、その際にはその年に実施が必要な事業があるので増額を申請することになると思われる。

(理事) 繰越金は返納するため残せないけれども、物は残せる。例えばPTの事業で使用する教材や備品等は、将来に使うものも先に購入してしまうこと等も検討してみたい。

(会長) 決して無駄遣いをするのではなく、活動のために必要なものには支出するという事で、協議会のお金を使っていたきたい。

② 議題2 「平成29年度の事業予定について」

- ・ 事務局より資料2に沿って説明した。
- ・ 議題1は、理事会で承認された。
- ・ 質疑応答は次のとおり。

(理事) エコポイント事業のポイント交換可能店舗を拡大することは良いことだが、それによってエコポイント事業の事務費はどんどん増えていく傾向にあると思われる。エコポイント事業の事務費は一般会計とは分けて、特別会計の中に繰り入れて欲しい。

(事務局) 最近では、マイナンバーカードに各種ポイントを付与し、活用する仕組みを追加できるようになったと聞くので、将来的にはそういう仕組みを活用することでエコポイントの事務費を削減することも含め検討を行っていく。

(会長) マイナンバーカードを活用することも踏まえると、エコポイント事業に関しては、将来的にはこの温暖化対策地域協議会だけでなく、もっと多くの活動と共同するとか、事業自体を広げる方向にあるのではないかと思う。また、今回、エコポイント事業の対象機器を拡大するという事だが、対象機器ごとにポイントの付与数が異なっている。その根拠として、各対象機器の導入コストを提示してもらえないか。

(事務局) 承知した。

(理事) イオンからは平成26年度まで寄付金をいただいていたようだが、平成27年度以降は寄付がなくなったのか。

(事務局) 平成27年度からイオンの寄付がなくなったが、今年度、以前と比べると少額だが寄付金をいただけるとの連絡があった。具体的には、5,534円の寄付で、店舗での無料レジ袋の配布削減分の収益を寄付していただいた。寄付金額が低下した理由は現在確認中だが、一つにはエコバック等の持参率が大幅に向上したためと推測している。

(3) その他

① その他1「平成28年度夏季よこすか節電チャレンジの結果について」

- ・ 事務局より資料3に沿って説明した。
- ・ 質疑応答は次のとおり。

(理事) 資料3のデータを使って、世帯人数ごとに一人当たりの電気使用量の削減量を出してみたらどうか。世帯人数が分かっているので、計算して出すことができると思う。

(事務局) 承知した。

② その他2「平成29年度総会、理事会のスケジュールについて」

- ・ 事務局より次第に沿って説明した。

(4) 閉会